



国土交通省中国地方整備局
山口河川国道事務所
山陰西部国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

令和7年4月1日

同 時 資 料 提 供

山口県政記者クラブ
山口県政記者会
山口県政滝町クラブ

お知らせ

国土交通省 中国地方整備局

山口河川国道事務所

山陰西部国道事務所

宇部港湾・空港整備事務所

令和7年度の予算概要

問い合わせ先

○国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所

副所長	(河川)	みつい しんすけ 光井 伸典	(内線 204)
副所長	(道路改築)	こだま かつし 児玉 克史	(内線 205)
副所長	(道路管理)	おかもと しんじ 岡本 慎二	(内線 206)
担当)	計画課長	なかおか こうた 中岡 浩太	(内線 261)

電話番号 (0835) 22-1785

○国土交通省 中国地方整備局 山陰西部国道事務所 (山陰道関係)

副所長		きもと ひであき 木本 英哲	(内線 204)
担当)	計画課長	のむら けん 野村 研	(内線 261)

電話番号 (0838) 21-3934

○国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

副所長	(徳山下松港・宇部港)	ことう じゅんいち 古藤 順一	(内線 12)
副所長	(岩国港)	おか ひでき 岡 英毅	(内線 10)
担当)	工務課長	いとう よしたか 伊藤 吉孝	(内線 16)

電話番号 (0834) 31-0409

山口河川国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/yamaguchi/>

山陰西部国道事務所ホームページ <https://www.cgr.mlit.go.jp/saninseibu/>

宇部港湾・空港整備事務所ホームページ <https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/>

目 次

令和7年度の予算概要

1. 配分方針		1
2. 事業概要		2
3. 令和7年度の道路調査の見通し		3
4. 主要な施策、事業の概要		4

山口河川国道事務所
山陰西部国道事務所
宇部港湾・空港整備事務所

令和7年度の予算概要

1. 配分方針

- (1) 令和7年度国土交通省関係予算では、「国民の安全・安心の確保」、「持続的な経済成長の実現」、「地方創生 2.0 に資する個性をいかした地域づくりと分散型国づくり」を3本柱として、令和6年度補正予算と合わせて切れ目なく取組を進めることとしている。
- (2) また、社会資本整備については、ストック効果の最大化に取り組みつつ、既存施設の計画的な維持管理・更新・利活用を図りながら、上記の3本柱の実現に資する波及効果の大きなプロジェクトを戦略的かつ計画的に展開していく必要がある。
- (3) 以上のような点を踏まえ、一般公共事業等予算の配分に当たっては、
- ・令和6年能登半島地震等を踏まえた防災・減災対策・気候変動による水害や土砂災害の激甚化に対抗する「流域治水」の加速化・強化・TEC-FORCE 等の国の災害支援体制・機能の拡充・強化
 - ・インフラ老朽化対策等による持続可能なインフラメンテナンスの実現
 - ・地域における総合的な防災・減災対策、老朽化対策等に対する集中的支援（防災・安全交付金）
 - ・効率的な物流ネットワークの早期整備・活用
 - ・国際バルク戦略港湾の機能強化
 - ・成長の基盤となる社会資本整備の総合的支援（社会資本整備総合交付金）
 - ・ゆとりとにぎわいのあるコンパクト・プラス・ネットワークの推進
 - ・多様な世帯が安心して暮らせる住宅セーフティネット機能の強化

などについて、地域域の実情や要望、事業の必要性や緊急性に基づき、配分を行う。

また、山口河川国道事務所、山陰西部国道事務所及び宇部港湾・空港整備事務所は以上の方針を念頭に置き、山口県の県づくりを積極的に支援するため、各種事業を推進します。

2. 事業概要

1)山口河川国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
河川関係			
一般河川改修事業	421	445	0.95
総合水系環境整備事業	20	20	1.00
小計	421	445	0.95
道路関係			
改築	4,834	6,047	0.80
交通安全(Ⅰ種事業)	935	1,226	0.76
電線共同溝	615	615	1.00
小計	6,384	7,888	0.81
事務所計	6,805	8,333	0.82

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「岩国・大竹道路」(広島県分)は含まれていない。

一般河川改修事業は、小瀬川(山口県分)は含まれていない。

維持管理に関する予算は含まれていない。

2)山陰西部国道事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
道路関係			
改築	9,717	8,965	1.08
事務所計	9,717	8,965	1.08

注. 事業費はいずれも年度当初予算額である。

改築は、「益田・田万川道路」(島根県分)を含んでいる。

3)宇部港湾・空港整備事務所

事業費総括表

(単位:百万円)

事業科目	令和7年度	令和6年度	対前年度比
港湾関係			
【国際拠点港湾】			
徳山下松港	3,248	3,250	1.00
【重要港湾】			
岩国港	560	400	1.40
宇部港	200	200	1.00
【地方港湾】			
油谷港	120	120	1.00
事務所計	4,128	3,970	1.04

注. 事業費はいずれも年度当初予算である。

下関市域分は含まれていない。

3. 令和7年度の道路調査の見通し

個別路線の事業化に向けて、ルート・構造検討に係る調査等を進めます。
主な調査箇所は、下記の通りです。

【主な調査箇所】

都市計画・環境アセスメントを進めるための調査

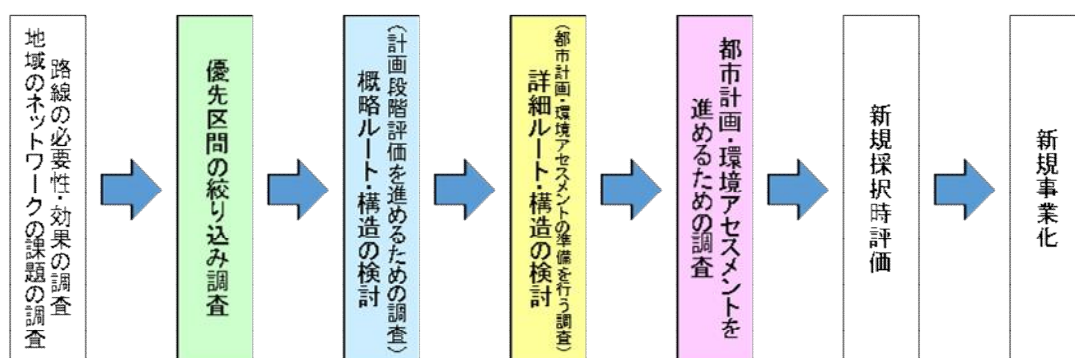
山口県・福岡県 しものせききたきゅうしゅう
下関北九州道路

下関都市圏及びその周辺部については、広域的な幹線道路ネットワークの機能強化等に係る調査を実施します。

その他の未整備区間についても、当該地域の交通状況、社会経済状況や道路網の課題等を調査し、優先区間の検討や地域の道路網の中での必要性・整備効果の整理等を進めます。

また、渋滞や交通安全など、地域における道路交通に関する課題、サービスレベルを把握するためのデータ収集・分析等を行うとともに、路線の必要性、緊急性、妥当性に関する基礎的な調査を実施します。

<道路調査の流れ>



4. 主要な施策、事業の概要(トピックス)

1)河川事業

事業名	令和7年度の概要	備考
さ ば が わ 佐波川河川改修事業 す ず や 鈴屋地区築堤事業	鈴屋地区において、樋門整備等を実施します。	資料- 1
さ ば が わ 佐波川総合水系環境整備事業 と く ち ほ り 徳地堀地区の水辺整備	測量・設計に着手します。	資料- 2

2)道路事業

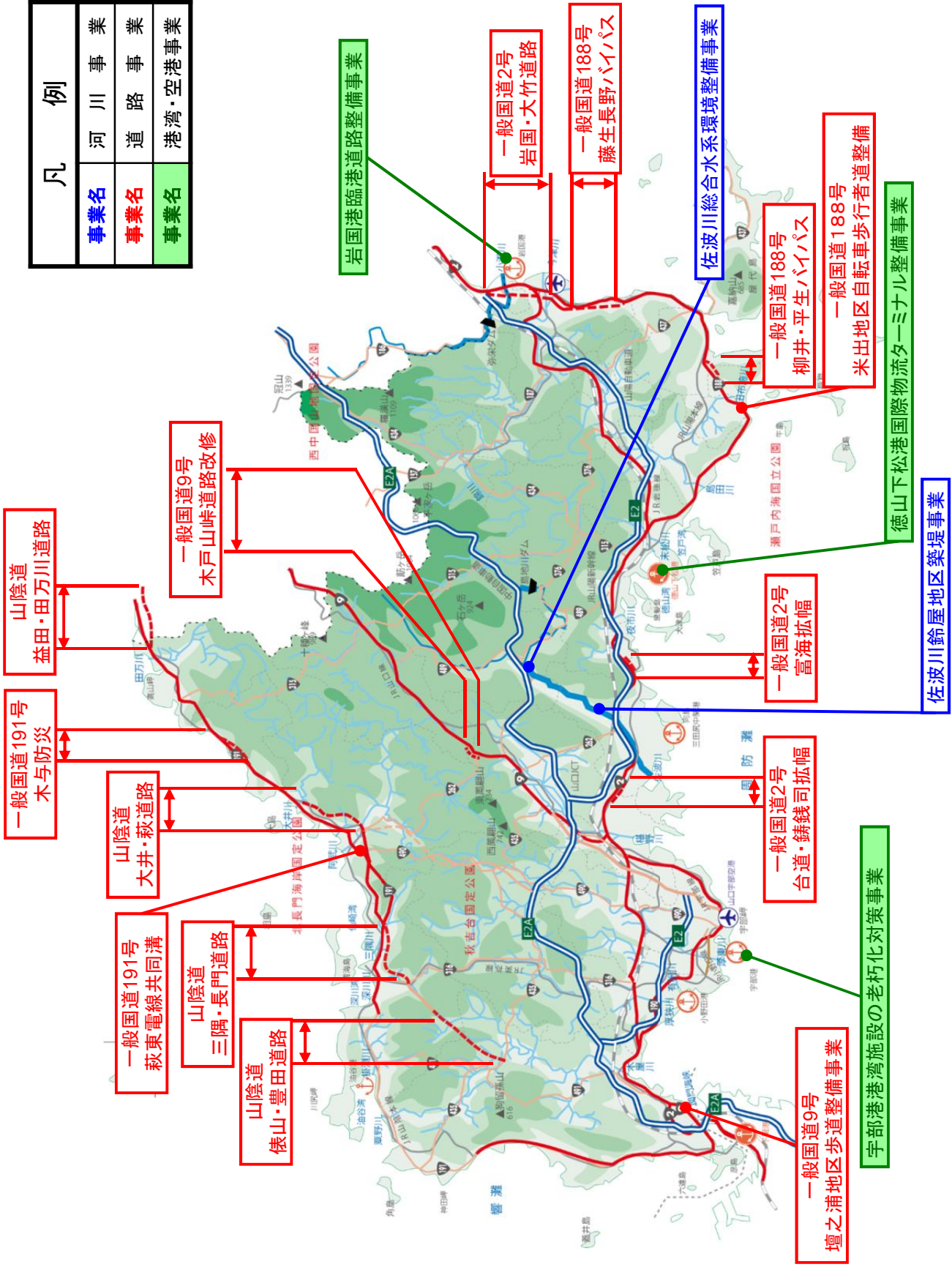
事業名	令和7年度の概要	備考
一般国道2号 い わ く に お お た け 岩国・大竹道路	用地買収、トンネル工事等を推進します。	資料- 3
一般国道2号 と の み 富海拡幅	令和7年度の開通に向けて、改良工事、舗装工事、道路付属物設置工等を推進します。	資料- 4
一般国道2号 だ い ど う す ぜ ん じ 台道・鑄銭司拡幅	調査設計を推進します。	資料- 5
一般国道9号 き ど や ま と う げ 木戸山峠道路改修	調査設計に着手します。	資料- 6
一般国道188号 ふ じ ゆ う な が の 藤生長野バイパス	調査設計、用地買収等を推進します。	資料- 7
一般国道188号 や な い ひ ら お 柳井・平生バイパス	調査設計、用地買収等を推進します。	資料- 8
山陰道 ま す だ た ま が わ 益田・田万川道路	調査設計、用地買収等を推進します。	資料- 9
一般国道191号 き よ 木与防災	改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事等を推進します。	資料- 10
山陰道 お お い は ぎ 大井・萩道路	調査設計、用地買収等を推進します。	資料- 11
山陰道 み す み な が と 三隅・長門道路	調査設計を推進します。	資料- 12
山陰道 た わ ら や ま と よ た 俵山・豊田道路	用地買収、改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事等を推進します。	資料- 13
一般国道188号 こ め だ し 米出地区自転車歩行者道整備	調査設計を推進します。	資料- 14
一般国道9号 だ ん の う ら 壇之浦地区歩道整備事業	調査設計及び工事を実施する予定です。	資料- 15
一般国道191号 は ぎ ひ が し 萩東 電線共同溝	調査設計、本体工事(引込連系管路工事等含む)等を推進します。	資料- 16
し も の せ き き た き ゆ う し ゅ う 下関北九州道路	都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を推進します。	資料- 17

3)港湾事業

事業名	令和7年度の概要	備考
国際拠点港湾 とくやまくだまつこう 徳山下松港 国際物流ターミナル整備事業	徳山地区岸壁(水深 14m)の本体工事等を推進します。 新南陽地区岸壁(水深 12m)の本体工事等を推進します。	資料- 18
重要港湾 いわくにこう 岩国港臨港道路整備事業	臨港道路の橋脚工事を推進します。	資料- 19
重要港湾 うべこう 宇部港港湾施設の老朽化対策事業	岸壁(水深 10m)の地盤改良工事等を推進します。	資料- 20

【山口県】主要事業箇所

凡 例	
事業名	河川 事業
事業名	道路 事業
事業名	港灣・空港事業



さ ば が わ
佐波川河川改修事業
す ず や
～鈴屋地区築堤事業～

資料-1

事業費421百万円
※佐波川水系全体

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

ほうふし すずや

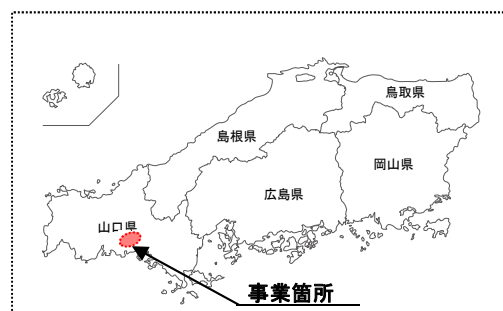
防府市鈴屋地区は、堤防がない箇所や堤防の高さや幅が不足している箇所が存在しており、昭和47年7月に発生した戦後第2位の洪水や、平成21年7月洪水により、家屋の浸水被害が発生しています。

このため、「鈴屋地区築堤事業」として、堤防整備や橋梁の架け替え等を実施することで、早期に地域の安全性の向上を図ります。

2. 事業箇所

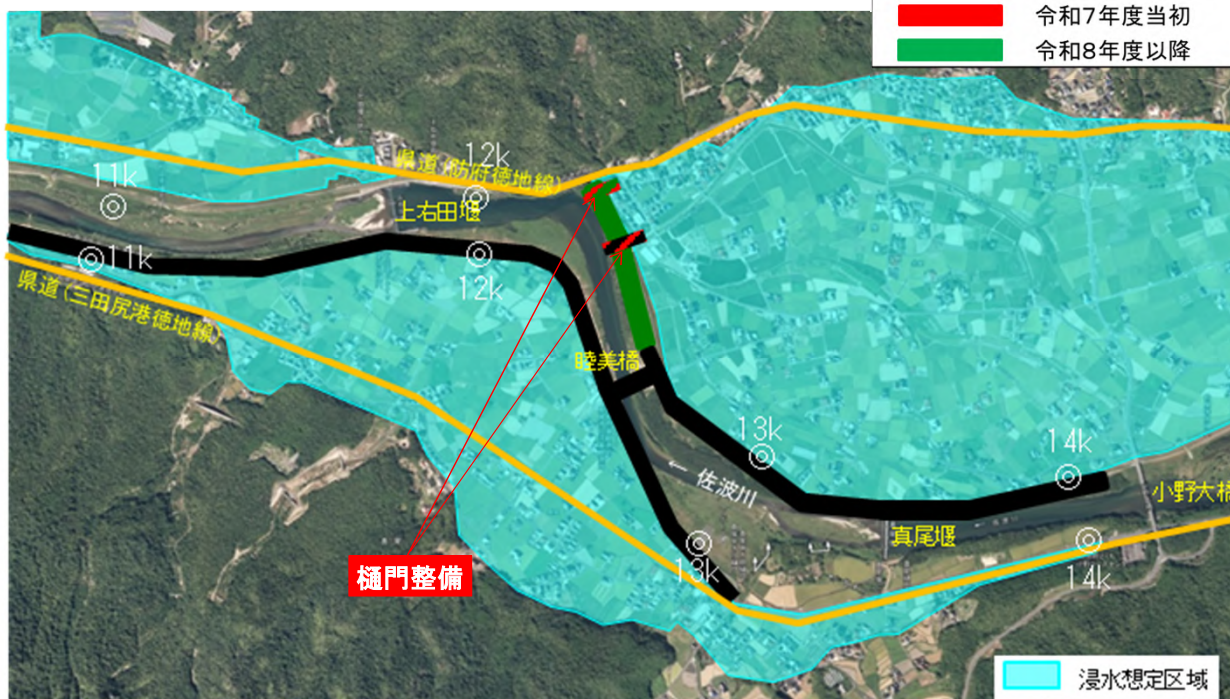
ほうふし すずや

山口県防府市鈴屋地先



3. 令和7年度予定事業内容

鈴屋地区において、樋門整備等を実施します。



4. 期待される整備効果

堤防整備等を実施することで、事業完了後に河川整備計画の目標である昭和47年7月洪水(戦後第2位の洪水)が再び発生した場合において、周辺地域の家屋浸水被害防止を図ります。

さばがわ
佐波川総合水系環境整備事業
とくぢほり
～徳地堀地区の水辺整備～

事業費20百万円
※佐波川水系全体

資料-2

事業推進(新規箇所着手)

1. 事業の必要性及び概要

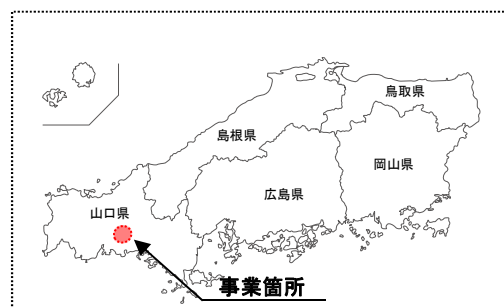
山口市は、豊富な緑や清澄な水を有する自然に満ちた都市であり、『第二次山口市総合計画』では、豊かで美しい自然と調和した県都である魅力を受け継ぎ、高め、山口市全体が活力を創出し、発展していくこととされています。

徳地堀地区周辺は、中央を流れる佐波川を中心として歴史文化が築かれた地域であり、現在もサイクリングロードや、花火大会、ホテル観賞の場として利用されています。

本計画では、佐波川の高水敷を人が近づきやすいように整備することで、現在でも人気の高い花火大会やホテル観賞、サイクリングロード等を活用し、市外からの集客促進を図り、地域の活性化を促進します。

2. 事業箇所

やまぐちし とくぢほり
山口県山口市徳地堀地先



3. 令和7年度 予定事業内容

測量・設計に着手します。



4. 期待される整備効果

親水護岸、坂路整備により水辺利用の安全性・利便性が向上するとともに、山口市による公園整備、駐車場整備により市内外からの観光客の増加も期待されます。

一般国道2号 岩国・大竹道路

事業費756百万円
(山口県分)

資料-3

1. 事業の必要性及び概要

岩国・大竹道路は、広島県大竹市から山口県岩国市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした延長9.8kmの道路です。

2. 事業箇所

広島県大竹市小方一丁目～山口県岩国市山手町

3. 令和7年度 予定事業内容

用地買収、トンネル工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

■災害に強い道路ネットワークの機能強化

- 岩国・大竹道路を整備することで、津波及び洪水浸水想定区域を回避する緊急輸送道路として機能。
- これにより、災害に強い道路ネットワークの機能強化が期待されます。



事業推進



【写真①】大竹市小方地区の施工状況



【写真②】和木町(岩国トンネル起点側坑口)の施工状況

一般国道2号 富海拡幅

資料-4

事業費2,313百万円

開通予定

1. 事業の必要性及び概要

富海拡幅は山口県周南市～防府市間における交通混雑の緩和及び交通安全の確保、地域経済の活性化を目的とした延長3.6kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県周南市戸田～防府市富海

3. 令和7年度 予定事業内容

令和7年度の開通に向けて、改良工事、舗装工事、道路付属物設置工等を推進します。



【写真①】樺地区の法面施工状況



【写真②】富海交差点付近の施工状況

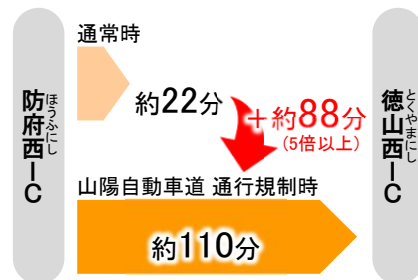
4. 期待される整備効果

■代替路の確保

○交通事故等により山陽自動車道で通行規制を実施すると、並行する国道2号に交通が集中し激しい渋滞が発生します。

○富海拡幅の4車線化により代替路としての機能が強化されることで、円滑な交通確保が期待されます。

<山陽自動車道 通行規制時の国道2号の状況>



資料: ETC2.0プローブデータ
国道2号上り防府西IC合流点～徳山西IC分岐点
平常時 | R3.9 平日、山陽自動車道通行止時 | R3.11.8

1. 事業の必要性及び概要

だいどう すぜんじ ほうふ やまぐち
台道・鑄銭司拡幅は山口県防府市～山口市間における交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域産業の支援及び救急医療活動の支援等を目的とした延長2.8kmの道路です。

2. 事業箇所

ほうふ だいどう やまぐち すぜんじ
山口県防府市台道～山口市鑄銭司

3. 令和7年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



【写真①】車線の絞り込みによる混雑状況



【写真②】右折待ち車両による混雑状況

4. 期待される整備効果

■地域産業の支援

○山口・防府地域は、中国地方を代表する自動車完成工場や自動車製造関連企業をはじめとする多くの工場等が立地しており、国道2号を利用して部品の輸送等が行われています。

○台道・鑄銭司拡幅の4車線化により主要企業間のアクセスが向上し、物流の効率化が図られ、地域の産業活動の支援が期待されます。



一般国道188号 藤生長野バイパス

事業費688百万円

資料-7

1. 事業の必要性及び概要

藤生長野バイパスは山口県岩国市藤生町～岩国市長野間の交通混雑の解消及び交通安全の確保を目的とした延長7.6kmの道路です。

2. 事業箇所

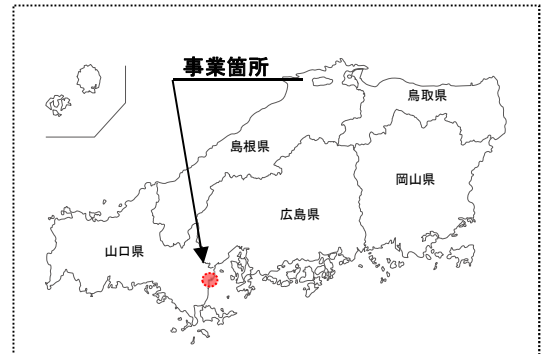
山口県岩国市藤生町～岩国市長野

3. 令和7年度 予定事業内容

調査設計、用地買収等を推進します。



事業推進



【写真①】越波の状況



【写真②】交通事故の状況

4. 期待される整備効果

■災害に強い道路ネットワークの機能強化

○バイパス整備により、リダンダンシーが確保され災害に強いネットワークが形成されます。



交通事故による通行規制実績

発生年度	全面通行止		片側交互通行	
	件数	規制時間	件数	規制時間
H26	2	1:34	4	3:08
H27	1	0:40	6	6:14
H28	4	8:31	8	10:23
H29	3	1:51	4	2:12
H30	2	0:30	5	6:05
H31/R1	1	1:11	6	3:57
R2	0	0:00	5	4:58
R3	0	0:00	2	2:13
R4	0	0:00	3	1:25
R5	1	0:14	6	6:40
合計	14	14:31	49	47:15

規制データ：通行規制実績 (H26～R5)
注) 藤生交差点から堀田交差点間のうち、交通事故を要因とする規制を対象

【過去10年間(H26～R5)の全面通行止め発生状況】

発生日	発生時刻	規制内容	規制時間	規制要因
R4.9.18	22:30	通行止	15:30	越波
合計			15:30	

規制データ：通行規制実績 (H26～R5)
注) 藤生交差点からバイパス終点付近の区間のうち、災害を要因とする規制を対象

所要時間の短縮

【現況】国道188号経由(延長14.7km)

約31分

【現況】迂回路経由(延長43.5km)

約66分

【整備後】藤生長野バイパス経由(延長14.3km)

約18分

約48分短縮

現況所要時間：ETC2.0プローブデータのR4.9～11平日における混雑時旅行速度
整備後所要時間：藤生長野バイパスV=60km/h

一般国道188号 柳井・平生バイパス 事業費917百万円 資料-8

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

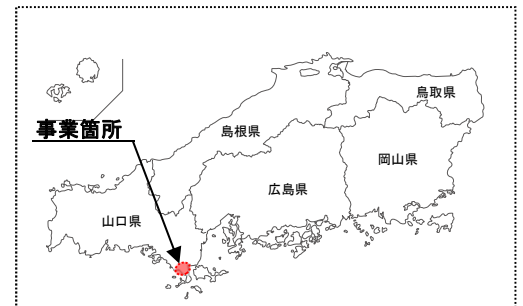
柳井・平生バイパスは交通混雑の解消及び交通安全の確保を目的とした延長2.2kmの道路です。

2. 事業箇所

山口県柳井市南町5丁目～熊毛郡平生町宇佐木

3. 令和7年度予定事業内容

調査設計、用地買収等を推進します。



【写真①】交通混雑の状況



【写真②】狭小区間における自転車走行状況

4. 期待される整備効果

■救急医療活動の支援

○当該区間は交通混雑や事故による通行規制により第二救急医療施設への救急搬送に支障となっています。

○当該区間の整備により、第二救急医療施設へのアクセス性や安全性が向上し、救急医療活動を支援します。

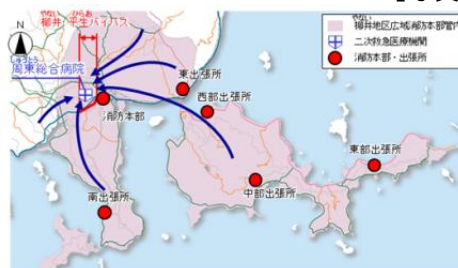
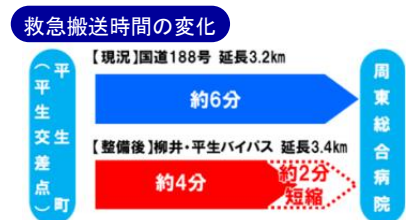


図 柳井・平生地域の救急搬送範囲



※R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より整備後は、柳井・平生バイパス設計速度60km/hで算出



図 第二救急医療施設への救急搬送ルート

1. 事業の必要性及び概要

山陰道 益田・田万川道路は島根県・山口県の県境に位置し、災害時等の代替路の確保及び、救急医療活動の支援、物流の効率化を図ることを目的とした、延長7.1kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県萩市下田万～島根県益田市戸田町

3. 令和7年度 予定事業内容

調査設計、用地買収等を推進します。



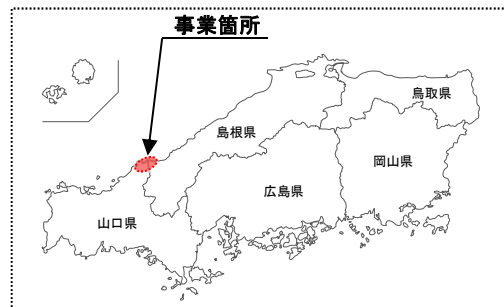
4. 期待される整備効果

■信頼性の高い道路ネットワークの確保

- 国道191号は山口県萩市と島根県益田市を最短で結ぶが、平成25年7月豪雨災害時には二級河川田万川が氾濫し大きな迂回が発生。
 - 益田・田万川道路の整備により、災害等による交通障害や道路寸断時の広域迂回が解消されます。
- 【萩市田万川支所～益田市役所の国道191号通行止め時の所要時間】
- 現況 約108分(迂回時)
→ 整備後 約27分 (約81分短縮)



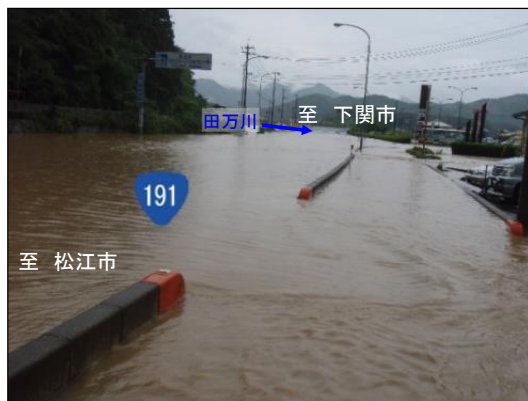
事業推進



写真① 線形不良箇所・益田市飯浦町付近



写真② 九州方面から浜田港への木材の運搬状況・田万川トンネル付近



写真③ H25年7月の冠水による通行止め・萩市下田万付近

一般国道191号 木与防災

資料-10

事業費5,386百万円

1. 事業の必要性及び概要

木与防災は、国道191号の事前通行規制区間を回避し、緊急時の代替路を確保することを目的とした延長5.1kmの道路です。

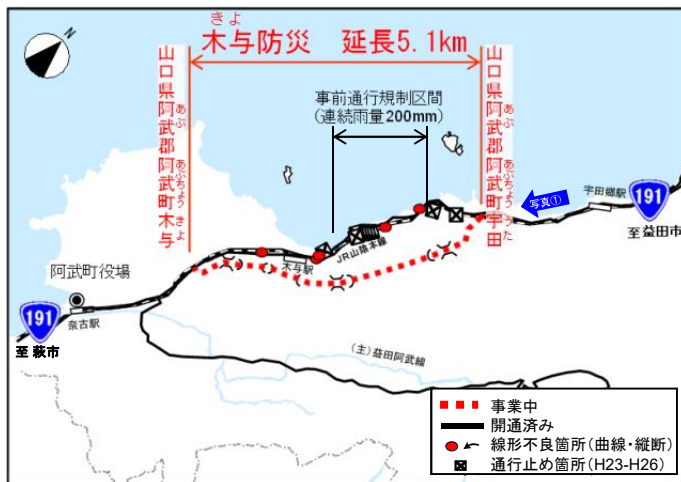
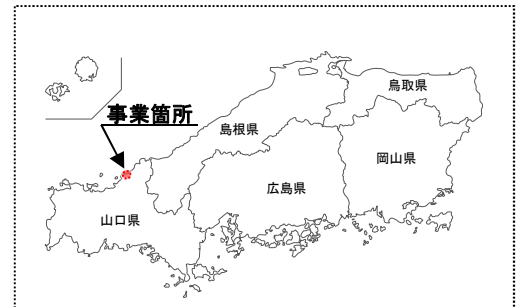
2. 事業箇所

山口県阿武郡阿武町木与～阿武郡阿武町宇田

3. 令和7年度 予定事業内容

改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事等を推進します。

事業推進



4. 期待される整備効果

【写真①】宇田地区の施工状況

■災害発生時の代替路確保

○並行する国道191号は、異常気象を起因とした通行止めが過去に10件（総規制時間約460時間）発生しています。

○木与防災を整備することにより、異常気象時の代替路が確保され、ネットワークの信頼性向上に寄与します。

通行止め発生時の迂回路



※ルート：須佐総合事務所から高次救急医療機関（萩市役所付近）で設定
※所要時間：R3全国道路・街路交通情勢調査、旅行速度より算出



【写真②】S55年土砂崩壊の状況



【写真③】H23年土砂崩壊の状況

事業推進

写真③ 線形不良箇所
・萩市椿東中小畑付近

1. 事業の必要性及び概要

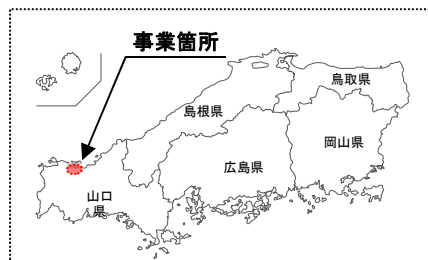
山陰道 三隅・長門道路は、長門市中心部に位置し、広域観光連携の強化及び、物流ネットワークの確保による地域産業の活性化、災害に強い道路ネットワークの確保を目的とした、延長10.0kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県長門市深川湯本～長門市三隅中

3. 令和7年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



4. 期待される整備効果

■広域観光連携の強化

○山口県北部は、萩市の世界遺産や長門湯本温泉など、観光地が多い地域です。

○三隅・長門道路の整備により、周遊観光ネットワークが形成され、観光拠点へのアクセス性、速達性が向上します。

【下関市・長門市・萩市の県外観光客内訳】



資料：令和5年山口県の宿泊者及び観光客の動向（山口県観光政策課）
所要時間：R3全国道路・街路交通情勢調査、旅行速度より算出
【現 況】現道利用
【整備後】三隅・長門道路やその他事業中区間を利用（80km/hで算出）

1. 事業の必要性及び概要

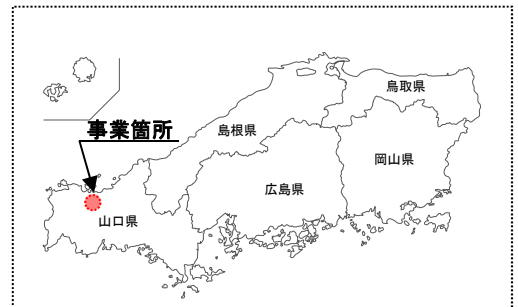
山陰道 俵山・豊田道路は、一般国道491号や主要地方道下関長門線等の事前通行規制区間の回避、広域観光連携の強化、第3次救急医療機関へのアクセス改善を目的とした延長13.9kmの自動車専用道路です。

2. 事業箇所

山口県下関市豊田町八道～長門市俵山小原

3. 令和7年度 予定事業内容

用地買収、改良工事、橋梁下部工事、トンネル工事等を推進します。



【写真①】俵山地区施工状況

4. 期待される整備効果

■代替路の確保による

ネットワークの信頼性向上

○並行する国道491号や(主)下関長門線は、異常気象を起因とした全面通行止めが過去10年間で15件(約875時間)発生しています。

○俵山・豊田道路の整備により災害や異常気象時の代替路が確保され、ネットワークの信頼性向上に寄与します。



【写真②】長門市俵山大羽山

<凡 例>	
——	山陰自動車道(開通区間)
- - - -	山陰自動車道(事業中区間)
——	一般国道(直轄)
——	一般国道(補助)
——	主要地方道
□	通行止め箇所(過去10年間: H25～R4)

※ 所要時間: R3全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度より算出
俵山・豊田道路の旅行速度は、80km/hで計算

一般国道188号 米出地区自転車歩行者道整備

資料-14

事業費28百万円

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

当該箇所は、近傍に麻郷小学校及び田布施中学校が立地しており、通学路に指定されていますが、歩道が狭隘であり、危険な状況となっております。

本事業は、事故ゼロプラン（事故危険区間重点解消作戦）の対象区間として、自転車歩行者道の整備を行い、歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩行空間の確保を行うものです。

2. 事業箇所

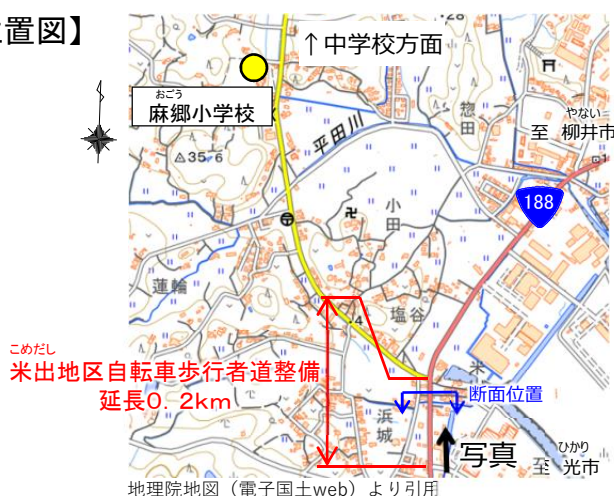
山口県熊毛郡田布施町麻郷

3. 令和7年度 予定事業内容

調査設計を推進します。



【位置図】

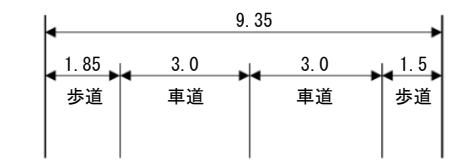


【現況写真】



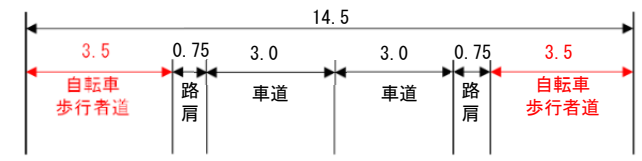
【現況断面図】

(単位:m)



【計画断面図】

(単位:m)



一般国道9号 壇之浦地区歩道整備事業

だんのうら

資料-15

事業費147百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

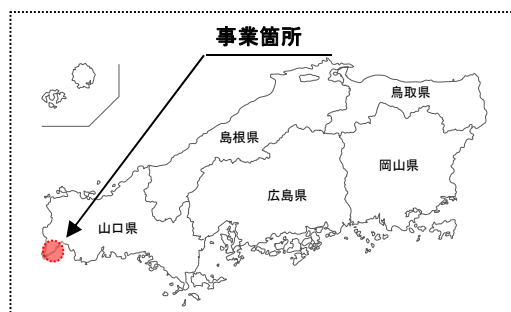
当該箇所は、海岸に面し工場、住宅等が立地し、自転車・歩行者の利用が多いものの、歩道が不連続となっています。また、台風襲来等に伴う高潮により発生する浸水災害からの防護機能の確保を目的に海岸事業者において高潮対策事業を実施している区間です。本事業は、事故ゼロプラン(事故危険区間重点解消作戦)の対象区間として、海岸保全施設整備事業と連携し、歩道の整備を行い安全・安心な歩行空間の確保を図るものです。

2. 事業箇所

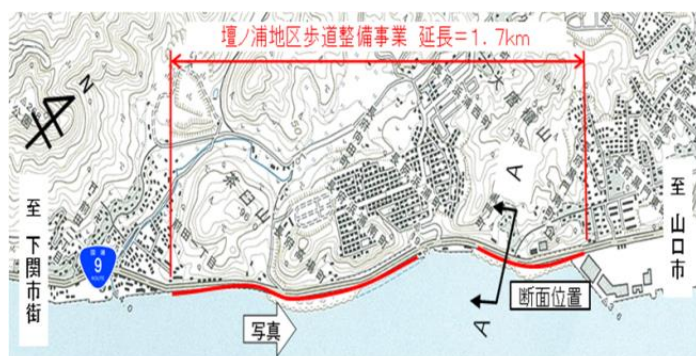
しものせきしちょうふくろもんみなみまち ちょうふたかばちょう
山口県下関市長府黒門南町～長府高場町

3. 令和7年度(当初) 予定事業内容

調査設計及び工事を実施する予定です。



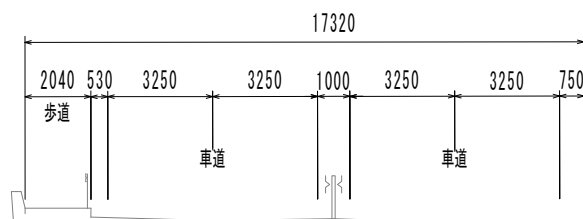
【平面図】



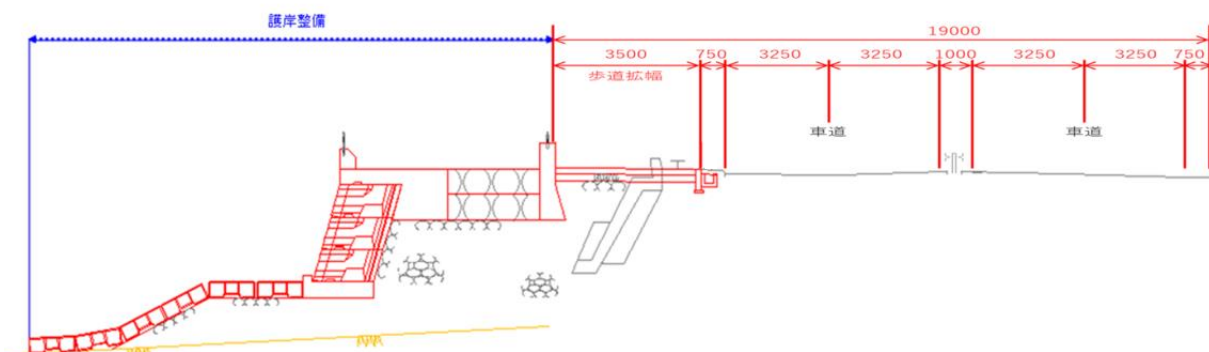
【現況写真】



【現況断面図】A-A断面 (単位:mm)



【計画断面図】A-A断面 (単位:mm)



はぎひがし 一般国道191号 萩東電線共同溝

資料-16

事業費315百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

はぎひがし

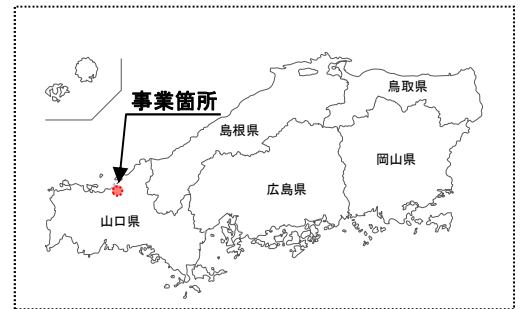
萩東電線共同溝は、電線共同溝を整備し無電柱化することで、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりの支援を目的とした事業です。

2. 事業箇所

はぎ ひがし
山口県萩市土原

3. 令和7年度 予定事業内容

調査設計、本体工事(引込連系管路工事等含む)等を推進します。



平面図

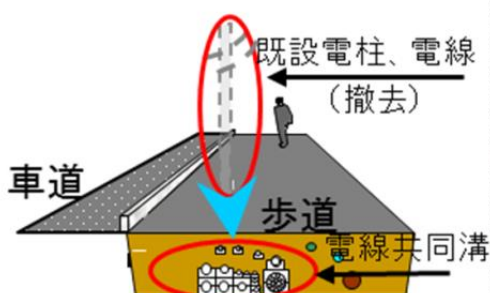


現況写真



4. 期待される整備効果

《イメージ図》



《整備の必要性(イメージ写真)》

○道路上に設置されている電柱は、災害時の倒壊により道路を閉塞させるおそれがあるほか、歩行者等の通行や良好な都市景観の形成の妨げとなっています。



＜電柱の倒壊による道路閉塞の事例＞



＜飛来物による電柱倒壊の事例＞



＜歩行の支障となる電柱の事例＞

○ 調査の概要

しものせききたきゅうしゅう しものせき きたきゅうしゅう
下関北九州道路は、下関市、北九州市の都心部を結び、循環型ネットワーク形成により、くらし、産業・物流、観光、渋滞緩和など地域の一体的発展に寄与するとともに、本州と九州の広域的な人流・物流及び経済活動の活性化を支える大動脈、災害時の代替路としての機能・役割を担う道路です。

令和7年度は、引き続き、山口県及び福岡県等の関係自治体と協力しつつ、都市計画・環境アセスメントを進めるための調査を推進します。

継続

《位置図》



※海峡部の構造形式は 橋梁

○ 当該地域の課題

- 令和4年9月の台風14号では、関門橋が通行止めとなり関門トンネルに交通が集中し、周辺部が渋滞。
- 関門トンネル・関門橋を利用する交通需要の約8割が広域交通(地域内外・通過交通)であり、通行止めにより約7万台/日に影響する可能性があり、地域のみならず広域交通にとっても課題。

＜令和4年9月 台風14号の影響＞



ETC2.0プローブ(R4.9.20(火)2:00~3:00)

＜通行止めによる本州-九州間の広域物流への影響＞

関門トンネル・関門橋を利用する交通需要

関門トンネル・関門橋を利用する交通需要の約8割が広域交通



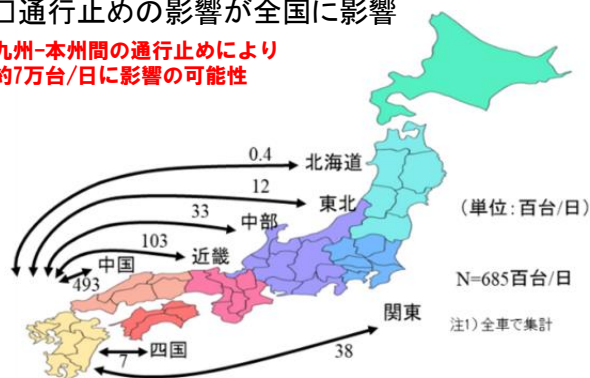
注1) 全車で集計

注2) 北九州市・下関市を地域内として集計

資料: 全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査 (H27)

通行止めの影響が全国に影響

九州-本州間の通行止めにより約7万台/日に影響の可能性



資料: 全国道路・街路交通情勢調査 自動車起終点調査 (H27)

1. 事業の必要性及び概要

事業推進

とくやまくだまつ

徳山下松港は、西日本に立地する火力発電所や鉄鋼、製紙、化学工業等で発電燃料に用いられる石炭の輸入拠点として重要な役割を果たしており、平成23年5月には、国際バルク戦略港湾に選定される等、更なる発展が期待されています。

周辺の企業が利用する既存ターミナルは、大型船に対応しておらず、積荷調整による非効率な輸送を余儀なくされています。このため、下松地区、徳山地区および新南陽地区において、大型船に対応した岸壁等の整備を推進します。

2. 事業箇所

しゅうなん。

とくやま

しんなんよう

くだまつ

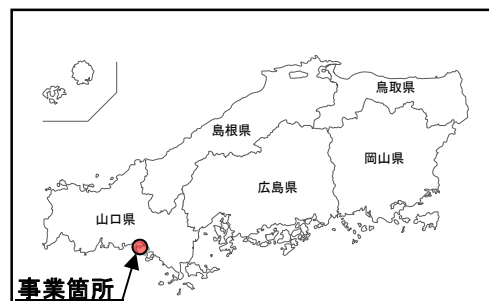
くだまつ

山口県周南市(徳山地区、新南陽地区)、下松市(下松地区)

3. 令和7年度予定事業内容

徳山地区岸壁(水深14m)の本体工事等を推進します。

新南陽地区岸壁(水深12m)の本体工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、企業間連携による大型石炭運搬船を活用した共同輸送の進展への対応が可能となり、地域産業の安定・発展や国際競争力の強化が図られるとともに、西日本地域の石炭輸入拠点となることにより、エネルギーの安定的かつ安価な輸送の実現や大規模災害時における物資輸送機能の維持に寄与します。

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

岩国港は、石油化学コンビナート等を有する工業港であるとともに、国際コンテナ貨物の取扱港として地域経済を支える重要な役割を担う港です。

しかし、港内のふ頭間を結ぶアクセスルートがないため、港湾関連車両は混雑が激しい国道2号や住宅地内の市道を通行し、非効率な輸送を余儀なくされています。

このため、港湾貨物の物流効率化や住宅地の生活環境の改善を図るため、臨港道路の整備を推進します。

2. 事業箇所

いわくに
山口県岩国市

3. 令和7年度予定事業内容

臨港道路の橋脚工事を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、ふ頭間の臨港交通ネットワークの構築による物流効率化が図られ、背後企業の国際競争力強化に寄与します。また、住宅地内の市道を通行していた港湾関連車両の通行ルートが新たに確保されることにより、周辺的生活環境の改善に資することが期待されます。

本事業より、既設港湾施設の延命化およびライフサイクルコストの低減が図られます。

う べ 宇部港港湾施設の老朽化対策事業

資料-20

事業費200百万円

事業推進

1. 事業の必要性及び概要

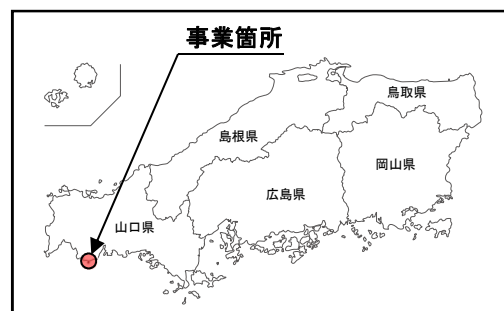
宇部港は、背後に集積する基礎素材型産業を支える工業港として重要な役割を担っていますが、当該岸壁は、エプロンの沈下が著しく、荷役作業に支障が生じています。このため、荷役作業等の港湾機能回復、保全のため、港湾施設の老朽化対策を推進します。

2. 事業箇所

う べ
山口県宇部市

3. 令和7年度予定事業内容

岸壁(水深10m)の地盤改良工事等を推進します。



4. 期待される整備効果

本事業により、既設港湾施設の延命化が図られます。